

2022 杉山杯サッカー大会(兼)スポーツDEPOカップ 実施要項

- 1 趣 旨 日本 of 将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。
- 2 名 称 2022 杉山杯サッカー大会(兼)スポーツDEPOカップ
- 3 主 催 山形地区サッカー協会
- 4 主 管 山形地区4種委員会
- 5 後 援 スポーツDEPO
- 6 日 程 2022年7月2日(土)・7月3日(日)
- 7 会 場 山形市球技場
- 8 参加資格
- ①「参加チーム」は、大会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会(以下「JFA」)第4種に加盟登録していること。
 - ②上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動しており、小学6年生以下の単一チームで構成されていること。
 - ③「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。
 - ④引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上がJFA公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。原則としてJFAの発行した公認指導者ライセンス証(各チームで印刷)(写真付)を持参すること。
※公認指導者ライセンス証とは、JFA WEBシステム「KICKOFF」から出力した公認指導者ライセンス証を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。
 - ⑤「参加チーム」はスポーツ傷害保険等に加入していること。
 - ⑥「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
 - ⑦「参加選手」は、原則としてJFAの発行した加盟チームの選手登録証(各チームで印刷)(写真付)を持参すること。
※選手証とは、JFA WEBシステム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。
- ※本大会は「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン」(https://www.jfa.jp/about_jfa/guideline.html)、「試合の開催について」及び「新型コロナウイルスの影響下における参加チーム遵守事項」を適用し、開催運営します。各チームはガイドライン等をチーム関係者に周知し遵守の上、参加してください。
- 参加チームは「新型コロナウイルス感染拡大防止対策チェックリスト」1部及び「山形県サッカー協会 大会参加者健康チェック表 チーム用」2部を記入作成し、会場責任者(主管チーム)に提出してください。なお、大会参加者健康チェック表は選手、指導者のほか、会場に入場する保護者等を含めて

作成してください。(使用会場において、指定の様式がある場合等は、会場の指示に従うこと。)

9 参加チームの人数

「参加チーム」の構成は、選手 20 名以内とし、最小エントリーは 8 名とする。

10 試合方法

- ①参加チームによるトーナメント方式。
規定の試合時間内に勝敗が決しない場合はPK方式により勝者を決定する。
PK戦は3人で行い、その後はサドンデスとする。
- ②試合時間
試合時間は、1回戦及び2回戦は30分間、準々決勝以降は40分間とし、インターバルは5分とする。
- ③ベンチにはエントリーメンバーの他3名、ベンチサイドでの応援は禁止とする。
- ④ベンチはコートに向かってトーナメント表の左側が左とする。
- ⑤暑熱下において、前・後半中に Cooling Break 又は飲水タイムを採用する。
(本部判断)

11 競技規則

- ①2021/2022 年度 J F A 「サッカー競技規則」及び「8人制サッカー競技規則」による。
- ②グラウンドの広さは68×50mとし、ゴールは5×2.15m(少年用)を使用する。
- ③試合球(4号検定球)は持ち寄りとする。
- ④1チーム8人の競技者によって行われる。(8人に満たない場合は試合を行わず、得点を0-5として敗戦したものとみなす。
チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
- ⑤交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
- ⑥ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- ⑦試合中、不慮の事故等で選手が6名以下になった場合は試合中止(棄権/0-5)とする。

12 競技者のユニフォーム

- ①J F Aのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- ②本大会出場チームは正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- ③選手番号については、参加選手ごとに本大会中、同一のものを使用する。ただし、背番号は1~99番とする。
- ④ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- ⑤ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
※フィールドプレーヤーがゴールキーパーをする場合は、ビブス着用でも可とする。ビブス番号は問わない。
- ⑥主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ⑦前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができる。

- ⑧ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑨アンダーシャツ・ショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- 13 警告・退場 ①競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は試合を停止する。
- ②本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律委員会で決定する。
- ③本大会の異なる試合において警告を2回受けた競技者は本大会の次の1試合に出場できない。
- ④その他詳細については本大会規律委員会で審議し当該チーム及び選手に通知する。
- ⑤ベンチ（役員）が、判定に対しての執拗過剰な異議、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行った場合、主審の判断により、警告又は退場とする。
- ⑥退場の場合は本大会規律委員会で判断する。
- 14 審判員 ①参加チームは、自チームの責任で帯同審判を準備すること。帯同審判については、原則としてJFAの発行した審判証（各チームで印刷）（写真付）を持参すること。
- ※審判証とは、JFA WEBシステム「KICKOFF」から出力した審判証を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。
- ②審判は1人制審判とし、予備審判を置くこととする。
- ただし、関係チームの合意が得られた場合、副審等（副審、第4の審判員）を置くことができる。
- 15 表彰 第1位から第4位のチームを表彰する。
- 16 参加申込 参加希望チームは、6月12日（日）開催の組み合わせ抽選会に参加すること。ただし、やむを得ない事情があると認められる場合は、山形地区4種委員会による代理抽選を行う。
- 17 参加費 1チーム3,000円
（別途通知により山形地区4種委員会指定口座に振り込むこと。）
- 18 負傷者等に対する対応と災害発生に対する措置について
- ①大会中における怪我等については各チームの責任に帰するものとする。
- ②各チームにおいて熱中症予防（対策）に努めるものとする。
- ③災害等が発生した場合は、各会場の災害対応マニュアルに従い避難する。
（サッカー競技規則2021／2022「サッカー活動中の落雷事故の防止対策についての指針」参照）
- ④救急車を呼ぶ場合は、大会本部に連絡の上、会場の山形市球技場事務室から呼んでもらうこと。
- 19 その他 ①本大会要項に定めない事項は山形地区4種委員会にて協議のもと決定する。
- ②本大会参加中は試合中に限らず、人道的に不可解な言動や暴力、暴言等があった場合は、大会規律委員にて事実を確認し処分の対象とする。
- 20 問合せ 山形地区4種委員会 ya4shu2018@yahoo.co.jp

試合の開催について

※基本的にすべての行動での三密は避ける

【会場】

- ▶ 防球ネット内は、当該試合の監督・コーチ・選手・運営関係者以外立ち入り禁止とする。
- ▶ 基本的にスタンドの無い会場内（学校等）は、施設の留意事項に従うこととする。
「新しい生活様式」を守りチーム毎まとまっでの観戦や発声はしない。
- ▶ 各チームは事前に、保護者の方々が密の状況を作らず感情的になって大声で叫ばないように行動してもらえるか、協力の徹底をお願いすること。
- ▶ 駐車場や施設内では少人数で行動し密を避ける。

【試合開始】

- ▶ 用具チェック 通常通り試合前に行う。
- ▶ セレモニーは、相手チーム、審判との握手は実施しない。

【試合中】

- ▶ 得点時にハイタッチ、抱擁は極力避ける。
- ▶ ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する。

【ベンチ内】

- ▶ 三密を避けた行動を心がける。
- ▶ 指導者も含めむやみに大声を出さない。
- ▶ 選手、本部、審判も含め飲料水は、個人で準備し各人の責任において処理をする。

【試合終了後】

- ▶ セレモニーは、相手チーム、審判との握手は実施しない。
- ▶ ベンチ前（相手・自チーム）での挨拶・握手などは実施しない。
- ▶ スタンド・応援席への挨拶も実施しない。速やかにベンチを空け会場から移動する。

新型コロナウイルスの影響下における参加チーム遵守事項

1. チーム代表者は選手及びスタッフが以下の事項に該当する場合、チーム帯同を見合わせること。
 - ・体調が良くない場合。（例：発熱・咳などの症状がある場合）
 - ・同居家族及び身近な人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
2. 移動時の対応
 - ・出発時に選手及びスタッフに検温及び上記を確認し、チェックリストに記入すること。
 - ・可能な限り、小グループでの移動を心掛け、マスク着用、換気等の対策を行うこと。
3. 会場における感染防止対策
 - ・飲水ボトルを共有しない。（各自個人毎の準備）
 - ・ごみは個人で管理し、収集、持ち帰り処分すること。（密閉すること）
 - ・会場内に準備してある消毒液とポンプ型石鹸で手の消毒をこまめに行うこと。
 - ・プレー中以外はマスク着用のこと。（熱中症が懸念される状況下では、距離を保ったうえでマスクを外す）
 - ・飲みきれなかった水やスポーツドリンクは指定場所に捨てること。
4. 事後対応
 - ・大会後にチームから新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者へ報告すること。